

## 令和4年度津地区医師会事業報告

はじめに

昨年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵攻が現在も続いており、コロナ禍と相まって、経済面にも暗い影を落とし続けています。その中でも、サッカーワールドカップやWBC侍ジャパンでの日本選手の活躍は、明るく心躍る気持ちとなりました。また、当医師会は、4期7年会長を務めて頂きました浦和健人会長から令和4年6月26日第168回定時総会に於いて渡部泰和先生が新会長に就任され、執行部が刷新されました。浦和前会長には7年間、津地区医師会の執務や津市行政との良好な関係構築、そして事務室体制にも大きく貢献頂きましたこと、御礼申し上げます。

さて、本年度の事業も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対応を中心に取り組んで参りました。新型コロナ診療・検査医療機関として令和5年3月末までに76医療機関に登録を頂きました。新型コロナウイルスワクチン接種体制は、昨年に引き続き、一般住民への接種を診療科関係なくオール津地区医師会として会員皆様のご協力の下、ハイブリッド形式（かかりつけ医と集団接種）で実施し、津センターパレス集団接種会場は、出務医師数約1,400名、出務看護師約820名のご協力により、24,000名の市民へのワクチン接種を実施し、令和5年3月11日にその役目を終了することとなりました。ご協力頂きました津市健康福祉行政・津薬剤師会・津市看護師・津市消防本部及び会員各位に厚く御礼申し上げます。また、三重大学医学部附属病院敷地内に開設した津地域外来・検査センターの受検者数は、他の検査機関の充実も相まって検査人数が減少してきたことから6月末で閉鎖となりました。運営にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げます。令和4年度は、津市応急診療所でのPCR検査や抗原定性検査により約6,000名に対応頂きました（この内、陽性者約3,000名）。当番医先生方のご理解ご協力、誠にありがとうございました。

オミクロン株による7～9月の第7波そして12～1月の第8波を経験しましたが、幸いにも医療提供体制は、第6波の経験を活かし、休日・夜間二次救急医療体制に大きな歪みが生じることなく、三重大学附属病院、輪番7病院関係各位、津市消防、津市健康福祉行政および津保健所との協議で乗り切ることができました。2次輪番病院関係各位におかれましては、津市救急を支えて頂き、感謝申し上げます。津市応急診療所は平日について59名、休日は58名が、津市子ども応急クリニック・休日デンタルクリニックには10名の先生方にご協力頂きました。5月連休・お盆・年末年始に関しましても対応頂き、誠にありがとうございます。

健診事業は、コロナ禍であっても、徐々に回復傾向となり、特定健診も含み、胃癌二重読影や糖尿病重症化予防事業などに取り組みました。1歳半健診、3歳児健診は予定通りの事業活動が実施でき、就学時健診、学校健診については、校医の先生方のおかげを持ちまして、無事に市内生徒たちの健診を終える事ができました。

災害対策事業は、担当理事が中心となり、災害時メーリングリストについては、令和4年度は123件の医療機関にご登録を頂き、11月24日に安否確認メーリングリスト訓練を実施し、81医療機関（65.9%）からご回答頂きました。なかなか回答率上昇には繋がりませんが、根気よく各医療機関の安否確認を含めて100%近い回答率を目指したいと思っております。是非とも災害時メーリングリストの活用と事前訓練が円滑に行えるように、会員皆様のご理解ご協力をよろしく願い申し上げます。また、災害対策委員会を3回開催し、発災時の初動対応など含み活発な意見交換を行って来ました。

産業保健事業は、特定健康相談・長時間労働の面接・ストレスチェックの面談・訪問指導を実施致しました。

看護学校は、昨年度入学式は来賓の出席者なしでの挙行となりましたが、卒業式は前葉市長様始め、来賓の方々のご臨席の下、3年ぶりに少し華やかな雰囲気の中で卒業生を送り出すことができました。また、昨年より入学試験受験者数の減少が続いており、引き続き検討して参ります。

コロナ禍であっても、地域包括支援事業や介護支援事業は、多職種連携研修会や、バイタルリンクの活用

で順調な活動ができました。また、「安の津医報」も毎号滞りなく発刊できましたこと、関係各位のご努力の賜物と感謝申し上げます。公益事業として、当医師会の目玉事業である「健康広場」は、本年度も新型コロナウイルス感染症の影響で中止と致しました。

津地区医師会は、市民が健やかな生活を送ることができるように、生涯にわたり手助けを行うことで、国民皆保険を堅持しながら医療の恩恵を広く人々に還元することを目的として様々な事業を行ってきました。

公益事業としてⅠ.地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業 Ⅱ.看護専門学校事業 Ⅲ.地域包括支援センター事業 Ⅳ.介護支援事業を執行して参りました。特に新型コロナウイルス感染症対策と共に、新型コロナウイルスワクチン接種事業を中心に、市民に向けて健康増進や質の高い医療が実践できるような事業活動、津市の救急医療体制の充実、多職種連携を必要とする事業について重きを置いて事業活動を実施して参りました。

コロナ禍の中、これらの事業を滞りなく達成できたのは、会員各位のご理解・ご協力の賜物であると共に、日本医師会や三重県医師会との連携は勿論のこと、久居一志地区医師会・三重大学医師会・津歯科医師会・津薬剤師会・三重県看護協会そして津市行政機関との密接な関係を築くことできたからであります。また、昨年4月より事務員を新採用し、事務室の執務がより円滑に進み、より明るい雰囲気になっております。

令和4年度事業報告にあたり会員各位はじめ関連団体の皆様、事務室関係各位のご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。

それでは重点項目について、ご説明をいたします。

#### 「特別重点項目」

1. 公益社団法人として市民の皆さまに向けた活動の展開
2. 救急医療体制の更なる充実
3. 大規模災害対策の推進
4. 感染予防や医療事故対策に貢献する医療安全対策
5. 多職種連携を取り入れた「かかりつけ医（主治医）」の機能強化
6. 地域医療構想・地域包括ケア関連事業

## I 地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業

住民の健康を通して地域社会の健全な発展を進めるため、医師の研鑽により医学水準の向上を図る医学教育、住民の健康増進に直接かかわる健康啓発・広報、健（検）診、予防接種、母子保健、学校保健、救急医療対策、介護保険制度円滑化対策、地域連携対策、災害対策、医療安全対策、産業保健の他、住民の健康を守る対策等を協議する医療関係団体等連絡調整など様々な事業を実施いたしました。

(各事業の概要)

### (1) 医学教育事業

質の高い医療を提供し、住民の健康増進に寄与するため日頃から医師の自己研鑽が必要である。そのため、最新の知識と技術を学ぶ場として、また、住民の健康保持・増進を図るための専門知識と技能を整理する場として日本医師会生涯教育制度を活用し、医学研修会・講演会・症例検討会を開催いたしました。

なお、久居一志地区医師会とは密接に連携し、医学研修会等を共催するとともに、三重大学医学部の専門教室と共催して医師だけでなく医療関係者を対象になるべく多くの受講機会と専門分野にわたる知識の研鑽の場を提供いたしました。

また、医療の高度化による各専門分野での医学研鑽の重要性から、当医師会の内部に診療科別の医会を設けて研究活動を実施いたしました。

## (2) 健康啓発・広報事業

市民を対象に、健康啓発講演会、健康相談等を実施する健康イベントを2回開催していますが令和4年度もコロナ禍のため中止となりました。健康づくりに関しての普及啓発を行うとともに、毎月発行の「安の津医報」やホームページにより市民及び関係機関に対し当医師会事業等の情報を提供いたしました。

## (3) 健（検）診事業

津市から特定健康診査、健康増進法健康診査、後期高齢者健康診査、及び各種がん検診に係る事業を受託し、会員医療機関で検診を実施いたしました。令和元年より始めました胃癌検診の二重読影も、5年目になりました。令和3年度は、緊急事態宣言の発出に伴い一時検診が中止となりました。令和4年度も引き続き、感染防止対策を十分行っている医療機関では、緊急事態宣言発出中でも対応されることとされました。また読影医もこれまで通り三重大学医学部附属病院、三重中央医療センターの専門医の先生にお引き受けいただけました。

## (4) 予防接種事業

津市から「予防接種法」に基づく定期予防接種の事業を受託し、感染防止の対策を図るとともに予防接種事業を行う医療機関に対し安全で確実な予防接種を行うための研修を実施いたしました。医療事故の無いよう行政とともに啓発活動を行いました。

コロナワクチンに関しては、津市と協働し、住民接種事業を行いました。また、コロナワクチン被害検討委員会にも委員として、2名が出席しております。

## (5) 母子保健事業

津市が行う「母子保健法」に基づく1歳6か月及び3歳児健康診査の実施の際に小児科医師・耳鼻科医師・眼科医師を派遣し、適切な指導・助言を行うとともに、乳幼児に係る様々な課題を検討するため行政と定期的に検討会・勉強会を実施いたしました。今年度から、視覚スクリーニング検査（スポットビジョンスクリーナー）を新たに導入しました。また、津市からの委託により行っている出産前後の妊婦に対する「すこやか相談」（医療機関内での面接相談）の実施にあたり、協力機関等との調整を行いました。

医師会主催の乳幼児健診委員会を定期的で開催しました。5歳児健診委員会は、住民の悉皆調査に向けて令和5年度からの道筋ができました。

保健師・助産師・産婦人科・行政などと、ママ元気ネットワーク会議にも参加を要請され、多職種連携に努めました。

## (6) 学校保健事業

津市教育委員会及び三重県教育委員会等からの要請により、保育園・幼稚園、小中学校及び高等学校に医師（小児・内科・眼科・耳鼻科）を派遣し、児童生徒に対し日常の健康指導を行うとともに、学校職員の健康指導も行いました。新型コロナウイルス感染対策の対応として学校健診は、令和3年度に引き続き春の健診を6月末までに行うこととなっておりましたが、1年中いつでも実施できるこ

ととされました。健診内容も目・鼻・喉の診察は中止しても良いが、注意を払って行うこととしています。校医・園医等の資質向上のための研修会をコロナ禍の元ハイブリッド形式にて開催し、学校保健の向上に努めました。

また、児童生徒の健康管理の徹底を図るため、津市教育委員会と委託契約を締結し、小学1・4年生及び中学1年生を対象に心臓検診を行いました。小学校の就学時検診は、大部分の児童をサオリーナに2日に分けて来てもらい、一斉に健診をしました。保護者の評判も良く今後もこの形式で就学時健診を行う予定です。

## (7) 救急医療事業

### ア) 一次救急対策

津市応急クリニックは、専任の看護師3人とともに順調に稼働しています。今年度の応急クリニックでの新型コロナウイルス検査は、抗原定性検査5,768件を実施し、陽性者は3,073件でした。

津地区検査・外来センターは、令和2年8月から三重大学附属病院の協力により実施してきましたが、検査人数の減少もあり令和4年6月末に閉鎖しました。

ワクチンの集団接種は、令和3年5月13日より津センターパレスとイオンモール津南で開始され、令和3年10月から津センターパレスのみで運営してきましたが、国のワクチン接種の方針により、令和5年3月11日で集団接種会場が閉鎖されました。医師1,385名、看護師821名の方に出務頂き、23,705名へのワクチン接種を実施することができました。

これからも住民の安心で安全な健康保持にこれまで以上に努めていきます。

- ① 成人の平日・日曜祝祭日・GW・お盆・年末年始の夜間診療(19:30~23:00)においてはこれまで通り津地区医師会と久居一志地区医師会合同で行います。
- ② 成人の日曜祝祭日・GW・年末年始の昼間診療(10:00~16:00)においては、「津市応急クリニック」は津地区医師会で「久居休日応急診療所」は久居一志地区医師会で運営しています。  
年末年始の当番は、「津市応急クリニック」で行なっています。
- ③ 小児は、大里の「津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニック」で、これまで通り津地区医師会と久居一志地区医師会の小児科医の先生方で運営されます。令和2年10月1日より受付時間に変更はありませんが、診察時間は30分遅らせ20時から23時までとなります。(受付は令和4年4月1日より19時30分から22時30分となります。)  
歯科診療は、これまで通り津市歯科医師会で運営されます。

### イ) 二次救急医療対策

救急医療対策は喫緊の課題となっており、市内の二次救急輪番病院(永井病院、遠山病院、武内病院、吉田クリニック、大門病院、津生協病院、岩崎病院、三重中央医療センターの8病院)と三重大学附属病院、三重病院、当医師会・久居一志地区医師会及び津市、三重県を構成メンバーとする二次救急対策協議会を設置し、救急医療対策の推進に努めました。特に、二次輪番病院の勤務医の疲弊が進み、救急医療に支障をきたしていることから大学病院からの医師派遣を調整するとともに、会員である開業医師による二次輪番病院への派遣協力体制の整備も行いました。なお、津市より津市内の二次救急輪番病院が抱える特殊事情を緩和し津市における病院輪番体制を維持する目的に負担金の交付を受けました。

### ウ) 救急医療機関活動

救急医療対策を少しでも充実させるため、救急病院・救急診療所として告示した医療機関に対して救急隊により搬送される傷病対応にかかる経費の一部を助成しました。

## (8) 介護保険制度円滑化対策事業

津市の要請を受け、介護保険認定審査会の委員に会員が就任するとともに、主治医意見書作成にかかる研修会を実施し、介護保険制度の円滑な運営支援を行いました。さらに、行政、介護事業者及び医師会のメンバーからなる介護保険事業推進懇談会に参加し、介護保険制度の課題について検討を行いました。

## (9) 地域連携対策事業

高度化、専門化している今日の医療現場において、医療機関相互の役割に応じた連携がますます必要となってきており、特に病院と各診療所との連携は重要であります。その一つとして、小児分野で県下唯一の小児専門二次救急病院である三重病院と津地区医師会所属の診療機関で運用している「津地区医師会オープンシステム」は順調に推移しています。

また地域包括ケア委員会では津市在宅療養支援センターの事業を通して、久居一志地区医師会と協働して新興感染症や大規模災害対応のなかでの在宅医療・介護連携、専門病院の地域連携の中での在宅医療・介護連携について多職種で研修し深化させることができました。

## (10) 災害対策事業

当医師会は、津市地域防災計画の救護班としての役割を担っており、津市総合防災訓練への参画や津市消防本部との意見交換を重ねており、大規模災害救護医療に関する対策委員会を組織し、行政との一層の連携の下、大規模災害時における市民の生命の安全を確保するための対策を推進するために、災害時における救急医療体制の見直しの検討を進めました。

## (11) 医療安全対策事業

平成22年度から久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、県看護協会と合同で対策委員会を設置して最新の知識を有している講師を招聘し、合同医療安全研修会を開催し中小の医療機関の医療安全の推進に努めてまいりました。現在は、日本医師会の医療安全推進者養成講座等を利用するよう方向転換を致しました。予防接種打ち間違い事故予防のための啓発を、津市と連携して行っています。

## (12) 産業保健事業

「産業保健活動総合支援事業」により、従業員50人未満の小規模事業所の健康保持を担う地域産業保健センター事業を推進します。

これまで通り健康相談窓口、長時間労働者やストレスチェックテストで問題のあった労働者の面接指導、小規模事業場への個別訪問による産業保健指導などを推進していきます。特定健康相談は、延べ148名の先生に6,454件、長時間労働の面接は4名の先生に4件、訪問指導は21名の先生に678件行いました。働き方改革関連法が成立し、産業医・産業保健機能の強化や治療と仕事の両立支援等を推進することとなり今まで以上に産業医に求められる責務が高まっています。三重県医師会産業医部会で産業医研修連絡協議会との連携を図り、産業医に対する三重県産業保健研修会の受講を勧め、その資質向上を図り地域労働者の健康保持の増進に努めます。

## (13) 医療関係団体等連絡調整事業

日本医師会及び三重県医師会との連携、並びに県内郡市医師会との情報交換を通じ、住民の健康を守るため、特に久居一志地区医師会とは津市2医師会連絡協議会を組織し、密接に連携して津市の保健事業を推進しました。また、津歯科医師会、津薬剤師会及び、久居一志地区医師会と共同で津市との政策懇談会を開き、市の健康福祉対策についての提言に対する意見交換会を行いました。

## 令和4年度地域の保健・福祉の向上による促進を図る事業の主な実績

### (1) 医学教育事業

- ① 医学研修の充実と日本医師会生涯教育制度実践の強化
  - ・医学研修会等を93回開催（主催・共催79回、後援14回）
- ② 県医師会主催の産業医研修会への参加

内 容	開催日
第1回産業医スキルアップ実施研修	2022年7月21日
第2回産業医スキルアップ実施研修	2022年8月18日
第3回産業医スキルアップ実施研修	2022年10月20日
リフレッシュ研修	2023年3月16日

- ③ 会員の資質の向上と会の活性化を図るため、各科医会及び研修会及び班別に情報交換会を開催
  - ・各科医会（9科）：整形外科、産婦人科、小児科、皮膚科、外科、耳鼻科、泌尿器科、眼科、内科
  - ・各班別（6班）：医師会内の地域を6地区に分けて班を構成
- ④ 医学研修・生涯教育委員会 2022.7.21

### (2) 健康啓発・広報事業

- ① 市民健康広場（健康イベント）
  - （令和4年度「こども部会」「おとな部会」共にコロナの影響のため中止）
- ② 市民及び関係機関に関し、当医師会事業等の情報提供の状況
  - ・当医師会のインターネットホームページを随時更新
  - 医療機関紹介掲載：令和5年3月末現在171件  
（検索方法—50音順、小学校区分、診察科目）
  - ・各会員の近況報告、情報交換などを目的とした医療情報ネットワークの開設

### (3) 健（検）診事業

- ① 検診に関する下記の説明会・検討会

内 容	実施日
津市各種がん検診実施要領説明会	資料のみ配布
特定検診特定保健指導実施要領説明会	
津市国民健康保険特定保健指導（動機づけ支援）説明会	
津市特定保健指導研修会説明会	
津市胃がん検診二重読影にかかる研修会	2022年5月19日

- ② 令和4年度の検診事業に向けて、津市2医師会連絡協議会の成人保険事業担当部会

内 容	実施日
津市2医師会連絡協議会成人部会胃がん検診ワーキング会議	2023年1月16日
津市胃がん検診事業運営検討会	2023年3月16日
津市2医師会連絡協議会子宮がん検診ワーキング会議	2023年3月2日

- ③ 特定健康診査、後期高齢者健康診査、健康増進法健康診査及び各種がん検診を実施  
(がん検診の種類)  
胃がん(内視鏡、X線)、大腸がん、前立腺がん、肺がん(喀痰、X線)  
乳がん(マンモ、エコー)、子宮がん(頸部、頸部+体部)、肝炎ウイルス検査  
(乳がん、肺がん及び胃がんの検診数)  
・肺がん—19,981件、乳がん—5,438件  
・胃がん(内視鏡)6,213件、胃がん(X線)2,681件
- ④ 肺がん検診読影会の開催状況  
・読影会の回数：延べ14回  
(2022.8月～12月の間毎月2回開催、2023.1～3月・4月の間毎月1回開催)  
・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師4名を招聘  
[健診受診者増加のため8月～12月は2グループに分けて実施]  
・読影に関して、デジタルデータ4台での二重読影と肺がんシャウカステン4台との同時読影
- ⑤ 乳がん検診読影会の開催状況  
・乳がん研修会の開催(2022.6.16) 出席者：21名  
・読影会の開催数：延べ9回(2022.8～2023.3月・4月の間毎月1回開催)  
・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師2名を招聘
- ⑥ 胃がん検診読影会の開催状況  
胃内視鏡検査の二重読影はクラウドを使用し適宜行いました。  
胃透視の読影会は月1回約3名の先生に二重読影を行っていただきました。  
(内視鏡)胃がん検診(出席者 46機関)・読影会の開催(講師人数2名)  
(X線)胃がん検診(出席者 21機関)・読影会の開催(講師人数3名)
- ⑦ 津市健康相談への医師派遣・協力状況

内 容	実施日
津市健康づくり推進懇話会	2022年6月2日, 8月18日, 11月24日 2023年1月19日
津市健康づくり推進懇話会打合せ会議	2023年3月23日
食生活改善推進委員養成講座	2022年9月20日
女性のための健康相談会へ担当理事が出席	(開催時は随時)
こころの健康相談への出席	(開催時は随時)

#### (4) 予防接種事業

内 容	実施日
予防接種協力医研修会の開催	2023年1月17日
津市2医師会連絡協議会の予防接種部会	2022年8月19日 2023年3月7日
予防接種担当部会	2022年1月17日
津市2医師会連絡協議会予防接種担当部会ワーキング会議	2022年5月27日, 10月7日 2023年1月23日, 3月7日
予防接種健康被害調査委員会	2022年6月21日, 8月23日, 10月24日 2023年1月6日, 3月6日

## (5) 母子保健事業

### ① 検診事業

- ・津市1歳6か月児検診の実施状況  
津市中央保健センター：医師2名 2回/月 7回 1回/月 5回  
久居保健センター：医師2名 年間18回（津2名・8回）
- ・津市3歳児検診の実施状況  
津市中央医療センター：医師2名 3回/月 1回 2回/月 6回 1回/月 5回  
久居保健センター：医師2名 年間18回（津2名・8回）
- ・津市3歳児耳鼻科検診の実施状況  
津市中央保健センター：医師1名 2回/月 22回（自宅アンケート確認含む）
- ・津市3歳児眼科検診の実施状況  
津市中央保健センター：医師1名 1回/月 12回

### ② 事業会議・部会等

内 容	実施日
乳幼児健診部会・事例検討部会	(第一木曜日で5回開催)
2 医師会連絡協議会母子保健事業担当部会	2022年4月4日, 11月21日 2023年3月28日
津市児童虐待防止等ネットワーク代表者会議	2022年7月28日
5歳児検診等に係る検討会	2022年12月16日
津市産後ケア事業会議	2022年10月20日

## (6) 学校保健事業

### ① 津市内の児童生徒及び学校職員に対しての健康指導の実施状況

- ・学校の派遣数＝小学校（36校）中学校（15校）、幼稚園（12園）  
保育園（43園）幼保（14園）高校・養護（13校）
- ・医師の派遣人数＝小児 内科（54名）、眼科（14名）、耳鼻科（14名）

### ② 津市内の児童生徒

- (対象：小学校1・4学年・中学校の1学年) 転校者の心臓検診の状況
- ・受診人数＝小学校—2,938名、中学校1,458名、合計4,396名
- ・心電図判読の結果、有所見者数  
小学校65名、中学校19名、合計4名
- ・心電図判読会に出席した医師人数15名  
(判読委員会の開催＝2022.5.27 2022.6.20 の2回実施)
- ・所見者がいる学校の養護教諭に対する心電図説明会を実施（2022.6.27）

津市教育委員会は、有所見者が該当する学校長に対して「心電図検査所見者経過調査報告書」を作成し発送

内 容	実施日
学校医及び会員を対象に津地区学校保健研修会	2023年1月24日
津地域就学時健康診断	2022年11月10日, 11月24日
津市学校保健推進委員会	2023年2月10日
学校保健委員会	2022年11月10日



## (7) 救急医療対策事業

①津市応急診療所の運営に関わる情報交換 2022. 7. 4 2022. 11. 11 2023. 3. 17

②津市夜間応急診療所の医師派遣状況

・津市応急クリニック（西丸の内550）

当会員協力医師数59名、久居一志地区医師会17名、非会員系1名

・津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニック（大里窪田町）

当会員協力医師数9名

(他に久居一志地区医師会及び三重大学附属病院並びに三重病院の医師も協力) 津市歯科医師会医師

③津市応急診療所における休日（昼間）の診療

・津市応急クリニック（西丸の内550） 当会員協力医師数59名、非会員1名

・津市久居休日応急診療所（久居本町）久居一志地区医師20名、当会員協力医3名

④5月連休・盆・年末年始の診療

昼、夜津市応急クリニック及び津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニックにて診療

⑤二次救急関係

内 容	実施日
二次救急医療体制の打合せ会議	2022年11月21日 Web開催
二次救急医療体制協議委員会	2022年12月21日, 2023年3月15日

構成団体：三重大学医学部附属病院、津地区医師会、三重中央医療センター、久居一志地区医師会並びに永井・遠山・武内・岩崎・吉田・津生協・大門の7病院の協力により休日及び平日夜間の病院群輪番制にて二次救急を実施

・二次輪番病院特殊な事情に対する支援実績報告書について提出依頼(上、下半期)

## (8) 介護保険制度円滑化対策事業

①津安芸介護認定審査会委員は昨年度に引き続き、津市の被保険者の要介護認定、要支援認定等に係る審査及び判定等を実施（委員の人数：当会員48名、任期：令和5～6年度の2年間）

②主治医意見書に関する研修会の開催（2023. 3. 14）

③令和4年度介護認定審査会委員新任研修会

④介護保険事業等検討委員会（2022. 5. 19 2023. 2. 9）及び担当ワーキング会議

⑤介護体制提供部会

## (9) 地域連携対策事業

①在宅医療の充実・連携を図るための下記の委員会・研修会等の開催

内 容	実施日
津市在宅支援センター運営協議会	2022年7月6日, 2023年3月22日
津市在宅医療介護ネットワーク会議	2022年7月22日, 2023年3月16日

- ・津市在宅療養センターホームページ掲載確認のお願い
- ・津市内病院地域連携部署連合会議（津ながる会議）
- ・津市在宅療養センター第1回マップ作成部会
- ・津市在宅療養センター第1回研修啓・発部会
- ・津市在宅療養センター第1回連携体制部会
- ・津市在宅療養支援センター運営協議会

## 多職種連携研修会

テーマ	実施日	参加人数
「進めよう多職種による退院支援カンファレンス～退院支援模擬カンファレンスを通して」	2022年6月30日	178名
「大規模災害へ南海トラフ地震その時慌てないために専門職として今できること」	2022年9月29日	148名
「在宅医療現場での医療者・介護者の安全～在宅ケースからのカスタマーハラスメントを考える～」	2022年10月27日	151名
「津市での在宅看取りについて考えよう～さまざまな立場から話を聴いて」	2023年2月16日	209名

### ②市民向け啓発

ケーブルテレビ津市行政情報チャンネル「プラザ津」での「在宅医療をご存じですか？」を放映の周知とYouTubeでの配信啓発、チラシ配布

### ③地域包括ケア推進講演会 2022. 11. 23

### ④在宅医療関連アンケート調査の実施

・在宅医療アンケート（関係者向け）

「津市在宅医療・介護連携ブック」関係者向け＜第二版＞医師会員へ配布

## (10) 災害対策事業

### ① 津市が主催の下記会議

内 容	実施日
津市災害医療に係る検討会議	2022年10月21日
津市防災会議	2022年11月2日, 2023年2月2日（書面）
津市総合防災訓練(美杉)	2022年11月13日

### ② 三重県主催の会議

内 容	実施日
三重県災害・救急医療対策協議会	2023年3月16日
地域別災害医療コーディネーター研修	2023年1月15日

### ③ 津地区医師会委員会・訓練

内 容	実施日
津地区医師会大規模災害委員会	2022年9月15日, 11月29日, 2023年3月2日
ACLS 研修会	2023年2月16日
大規模災害メーリングリスト訓練	2022年7月7日, 11月17日
大規模災害メーリングリスト運用訓練	2022年11月28日

当医師会として災害発生に備え、下記のものを準備

- ・当医師会からの支給された災害緊急連絡用携帯電話機を設置  
電話携帯者：会長、救急担当委員長、事務室
- ・防災無線電話（津市より貸与）
- ・AED（半自動除細動機）1台（医師会館エントランス設置）
- ・防災用ビブス 165着（各医療機関に1着配布済）

### (1 1) 医療安全対策事業

定期的な講習会は中止していますが、日本医師会の医療安全推進者養成講座等で研修しました。

### (1 2) 産業保健事業

- ①津地域産業保健センター運営協議会 (2022. 10. 20)  
地域産業保健センター コーディネーター会議  
産業保健研修会 (産業医・産業保健機能の強化などのストレスチェックへの対応)  
三重県医師会産業医委員会 (2022. 12. 1)
- ②津地域産業保健センター相談窓口の相談状況
  - ・特定健康相談 (サテライト) 493 件
  - ・長時間労働・高ストレス面談指導 (サテライト) 4 件
  - ・個別訪問による産業保健指導 19 件
- ③コーディネーターによる事業場訪問件数 84 件
  - ・産業医アンケート実施
  - ・第 43 回産業保健活動推進全国会議 (2022. 4. 15)

### (1 3) 医療関係団体等連絡調整事業

津市との連携強化を図るため、下記の会議等に出席

- ・津市長と三師会との懇話会 開催日 2022. 10. 27

三師会構成団体：津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会

### (1 4) 感染症対策事業

- ①津地域外来検査センター  
令和 4 年 6 月末で閉鎖  
祭日を除く火曜日, 木曜日 実施日 (2022. 4. 12 4. 28 5. 10 6. 2 6. 9)
- ②新型コロナワクチン集団接種  
令和 5 年 3 月末で終了
- ③会議・研修会

内 容	実 施 日
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に係るワーキング会議	2022 年 5 月 10 日, 7 月 13 日, 9 月 28 日 2023 年 3 月 27 日
郡市医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会	2022 年 7 月 28 日, 11 月 10 日, 2023 年 3 月 16 日
津地域感染症等危機管理ネットワーク会議	2023 年 2 月 16 日
感染症対策委員会	2022 年 8 月 3 日, 11 月 10 日

### (1 5) その他

内 容	実施日
社会保険集団指導	2023 年 2 月 2 日 (オンライン)
津市国民健康保険運営協議会	2022 年 8 月 18 日, 2023 年 2 月 16 日
臨床集団会	2022 年 10 月 7 日
三師会	2022 年 10 月 27 日

令和4年度シティマラソン実行委員会	2022年8月22日
第16回津シティマラソン大会サオリーナ杯2023 医師の派遣	2023年2月12日
地域医療構想「説明会」	2022年8月30日, 2022年9月2日
地域医療構想「意見交換会」	2022年9月27日
地域医療構想「調整会議」	2022年10月26日
津市自殺対策ネットワーク会議	2022年12月21日
津市社旗福祉協議会第3回評議員会	2022年9月27日
津市成年後見サポートセンター運営委員会	2022年8月25日
津市献血推進委員会	2022年9月26日
津市糖尿病性腎症化予防事業に係る会議	2022年5月18日, 6月1日, 8月25日, 10月26日 2023年2月9日
津市社会福祉事業団評議員会	
令和4年度津市社会福祉協議会第3回評議員会	2022年9月27日
津家庭裁判所委員会	2022年7月13日, 2023年2月20日

## II 看護専門学校事業

看護を取り巻く環境は、近年の少子高齢化において、人々の健康に対するニーズや価値観の多様化・個別化する一方、医療の高度化・専門化・疾病構造などの変化が著しい中、それらに適切に対応できる質の高い看護師を養成し、地域の医療・保健・福祉の向上に寄与することを目的に事業を実施致しました。

### 〔事業の概要〕

全国的にも社会問題となっている看護師不足の現状を踏まえ、豊かな人間性あふれる専門職業人として、生涯にわたり自己研磨できる能力を備えるとともに、「和顔愛語（わげんあいご）」の精神をもって看護を実践できる看護師を育成してまいりました。

※ 和顔愛語とは、仏教用語で一般的に解釈すれば「優しい顔つきと温かい言葉」だが、本来この言葉は、単に顔つきと言葉遣いについて言っているものではなく、「何ものをも受け入れる寛容のこころと慈悲の愛にあふれた暖かい言葉（こころ）」、つまり、人は「利他のこころ」を備えるべきであることを表した言葉で、本校ではこの精神を全カリキュラムのなかに取り入れている。

### ※ 教育目標

- 1) 生命の尊厳・人格の尊重を基盤とした人間理解と病気や苦難の体験の意味を考えることのできる能力を養います。
- 2) 看護に必要な専門的知識、技術、態度を学び、応用できる能力を養います。
- 3) 地域に密着し、住民のニーズ、社会の変化に対応しうる看護師を育成します。
- 4) 豊かな感性を育み、自己成長のために自己研鑽できる看護師を育成します。

なお、令和4年度卒業生の就職状況は次のとおりでした。

卒業生 36名(内訳)	1. 津市内医療機関	21名
	2. 津市以外の県内医療機関	13名
	3. 進学	0名
	4. 県外医療機関	2名

また、令和4年度の運營業務報告は次のとおりでした。

## 令和4年度三重看護専門学校の運營業務報告

### 【学校年間行事等】

- ・ 領域別実習始 (3年生) (2022. 4. 4)
- ・ 第19回入学式 (2022. 4. 7) 第19期生 41名入学 (男子2名、女子39名)  
※新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小して開催
- ・ 新入生ガイダンス (2022. 4. 8)
- ・ 前期授業始 (2022. 4. 8)
- ・ 定期健康診断 (1・3年生) (2022. 4. 13)
- ・ 新入生歓迎会 (2022. 4. 21)
- ・ 地震避難訓練の実施 (2022. 4. 21) 地震(津波)を想定して偕楽公園へ徒歩にて避難 (1年生)
- ・ 奨学金説明会 (日本学生支援機構・三重県看護師等修学資金) (2022. 4. 21)  
1年生5名、2年生2名参加
- ・ 1年生親睦会を実施 (2022. 5. 12)
- ・ 日本学生支援機構採用時 (高校予約) 説明会 (2022. 6. 3)
- ・ 津地区医師会奨学生募集説明会 (2022. 6. 29) 3医療機関 1年生及び2年生 46名出席
- ・ 日本学生支援機構採用時 (高校予約) 説明会 (2022. 7. 5)
- ・ 災害看護と国際看護 研修旅行 (2022. 7. 13) 2年生 41名参加 神戸市  
「人と防災未来センター」他
- ・ 抜打ち避難訓練 (2022. 7. 28) 1・2年生参加
- ・ 日本学生支援機構採用時 (在学採用) 説明会 (2022. 7. 28)
- ・ 第1回オープンキャンパス開催 (2022. 7. 30) 来場者数99名
- ・ 夏季休業 (2022. 8. 1～2022. 8. 31)
- ・ 第2回オープンキャンパス開催 (2022. 8. 7) 参加者数139名
- ・ 防犯教育・防火訓練の実施 (2022. 9. 5) 1年生参加
- ・ 基礎看護学実習 I-1 (2022. 9. 15)
- ・ 領域別実習終了 (2022. 9. 16) (3年生)
- ・ 定期健康診断 (2年生) (2022. 9. 27)
- ・ 前期授業終 (2022. 9. 30)
- ・ 後期授業始 (2022. 10. 1)
- ・ 看護の統合実習 (2022. 10. 6～10. 21)
- ・ 基礎看護学実習 I-2 (2022. 10. 21～10. 28)
- ・ 基礎看護学実習 II (2022. 10. 31～11. 18)
- ・ 日本学生支援機構返還説明会 (2022. 11. 10) 3年生10名参加
- ・ 地震避難訓練についての学習会 (2022. 12. 5) 全学年参加
- ・ 日本学生支援機構給付奨学金適格認定説明会 (2022. 12. 6) 1年生2名参加

- ・ 日本学生支援機構貸与奨学金適格認定説明会 (2022. 12. 7) 1・2年生 15名参加
- ・ クリスマス会 (3年生) (2022. 12. 23)
- ・ 冬季休業 (2022. 12. 25～2023. 1. 7)
- ・ 領域別実習始 (2年生) (2023. 1. 10～3. 10)
- ・ 看護師国家試験壮行会 (2023. 1. 30) 3年生・教員
- ・ 第112回看護師国家試験 (2023. 2. 12) 卒業予定者 36名受験
- ・ 同窓会説明 (3年生) (2023. 2. 15)
- ・ 第4回同窓会総会開催 (2023. 2. 24)
- ・ 第17回卒業式 (2023. 3. 2) 卒業生 36名 (女子 34名、男子 2名)
- ・ 実習室備品点検 (2023. 3. 17)
- ・ 図書(蔵書)点検 (2023. 3. 17)
- ・ 第112回看護師国家試験合格発表 (2023. 3. 24) 卒業生 36名 全員合格 (4年連続)
- ・ 春季休業 (2023. 3. 25～4. 7)

### 【第20期生 令和5年度学生募集】

- ・ 令和5年度学生募集要項出来上がる (2022. 5. 9)
- ・ 業者主催の進学相談会に参加 (2022. 5. 19、6. 22、7. 12、9. 21)
- ・ みえ看護フェスタ2022 Web開催 (2022. 5. 9～7. 31)
- ・ 第1回高校訪問 (2022. 6. 2～6. 30) 三重県内公立・私立高等学校 33校を訪問
- ・ 三重県内公立・私立高等学校 45校へオープンキャンパスポスターを送付 (2022. 6. 7)
- ・ 津地区医師会各医療機関へオープンキャンパスポスター送付 (2022. 7. 20)
- ・ 推薦・社会人入学試験願書受付 (2022. 10. 3～10. 11) 出願者 推薦・社会人入学 43名
- ・ 推薦・社会人入学試験実施 (2022. 10. 22) 受験者 推薦・社会人入学 43名
- ・ 推薦・社会人入学試験合格発表 (2022. 10. 31) 合格者 推薦・社会人入学 35名
- ・ 一般入学試験願書受付 (2022. 11. 1～11. 11) 出願者 一般入学試験 29名
- ・ 一般入学試験実施 (2022. 11. 19) 受験者 一般入学試験 27名
- ・ 一般入学試験合格発表 (2022. 12. 2) 合格者 一般入学試験 14名

### 【諸会議等】

- ・ 運営会議 8回開催 (2022. 5. 25、7. 27、9. 28、11. 25、2023. 1. 25、2. 22、3. 22、3. 31)
- ・ 教務会議 13回開催 (月1～2回程度開催)
- ・ 職員会議 1回開催 (2022. 4. 1)
- ・ 学債委員会 1回開催 (2022. 8. 25)
- ・ 自己点検・評価委員会 1回開催 (2023. 3. 16)
- ・ 入学試験委員会 4回開催 (2022. 9. 28、10. 26、11. 25、2023. 3. 22)
- ・ 学生委員会 1回開催 (2023. 3. 16)
- ・ 学校関係者評価委員会 1回開催 (2023. 3. 24)

### 【その他主な学校業務等】

- ・ 令和4年度愛知県専任教員養成講習会 (川合円香) (2022. 5. 6～2023. 3. 2)
- ・ 令和4年度三重県保健師助産師看護師実習指導者講習会 (原島郁子) (2022. 6. 1～10. 12)
- ・ 三重県看護学校校長会 総会 (2022. 6. 10)

### Ⅲ 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターは地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士が相互連携しつつ業務を行います。

津市では、令和2年4月より1か所新設され市内10か所となっています。当包括支援センターは平成21年8月から委託を受けていますが、令和2年度から担当地域が橋北・東橋内から橋北・北郊地区に変わり、引き続き担当地域の高齢者に対して、心身の健康の保持並びに生活の安定を図るため事業の実施に当たってきました。

#### 〔4年度事業の概要〕

職員体制は保健師2名、主任介護支援専門員1名、社会福祉士1名、事務員1名、介護支援専門員1名でした。新型コロナウイルス感染症の影響で様々な事業活動が制約されましたが、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し要介護状態とならないよう相談や支援を行うとともに、要介護状態となった場合でも必要なサービスが提供されるよう介護支援専門員など関係者の連携体制の構築を図り事業を進めてきました。

研修会等は参集やWEBなどにより、参加しました。

#### (1) 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防に関する知識の普及・啓発を図り、パンフレットの作成、健康講話の依頼を受けました。「包括だより」を3回発行し地域に回覧をしました。今年度も白塚地区社協より、年間3回発行の「白塚社協だより」への掲載依頼があり、包括支援センターの業務等について、毎回掲載させていただきました。

橋北地区のスクエアステップ教室、ダンス教室、地域の健康教室等は、新型コロナウイルス感染症に留意しながら通年開催することができました。

#### (2) 総合相談支援事業

地域に住む高齢者および親族等の相談に応じ、どのような支援が必要か把握し、地域における適切なサービス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援に取り組みました。高齢者を取り巻く問題も多様化しており、多職種の方との連携が必要になってきています。

判断能力が低下した高齢者の状況を把握し、成年後見制度や自立支援事業の利用を勧めました。また、虐待の報告や相談を受け、状況確認や面談を行うなど虐待防止に努めました。

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための連携体制づくりとして、津市在宅療養支援センターや関係機関と共に在宅医療・介護連携に取り組みました。また、圏域内の居宅介護支援事業所を対象に、事例検討会を開催し、介護支援専門員が抱える支援困難事案について後方支援を行いました。

#### (4) 指定介護予防支援事業

要支援者に対する介護予防サービス計画の作成とサービス提供の調整を行いました。また、居宅介護支援事業所と連携を図り介護予防サービス計画の委託を行いました。

#### (5) その他の事業

- 他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築  
地域ケア会議の開催  
生活・介護支援サポーターのフォローアップ講座を開催
- 地域で認知症を理解し、認知症とその家族を見守る認知症サポーターの養成講座を開催しました。

特に白塚地域では、地区社協と協力し、各サロンや小学校、自治会長、民生児童委員に向け、認知症予防についての講話をしました。

- 津市内地域包括支援センターの合同行事に参加、津市内の地域包括支援センターとしての統一を図りました。
- 平成 29 年度から「津市認知症施策総合推進事業」の委託を受け、「認知症地域支援推進員」としての活動をしました。

## 令和 4 年度地域包括支援センターの主な事業実績

### (1) 介護予防ケアマネジメント事業

#### 【当包括主催事業】

- |                            |      |      |      |         |
|----------------------------|------|------|------|---------|
| ○ダンス教室（毎月 1 回）             | 開催回数 | 11 回 | 参加者数 | 延 192 人 |
| ○スクエアステップ（毎月 1 回）          | 開催回数 | 12 回 | 参加者数 | 延 290 人 |
| ○上浜団地健康教室（毎月 1 回）          | 開催回数 | 12 回 | 参加者数 | 延 75 人  |
| ○「包括だより」発行（4 月、8 月、12 月）   |      |      |      |         |
| ○「白塚社協だより」掲載（7 月、12 月、3 月） |      |      |      |         |

#### 【健康教室依頼事業】

11 団体 延 17 回 延 196 名

### (2) 総合相談支援事業

- 相談件数 延 2,814 件（昨年と比較し件数のカウントの変更が有り件数は減少）
- 虐待対応 3 件
- アウトリーチ 7 件（支援が必要であるにも関わらず届いておらず、働きかけているケース）

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- 津市在宅医療・介護連携の推進 部会・研修会 8 回参加
- 担当地域内居宅会議支援事業所意見交換会 4 回開催
- ケアマネ後方支援 13 件

### (4) 指定介護予防支援事業

- 直営予防ケアプラン作成件数 延 819 件
- 委託予防ケアプラン件数 延 2,313 件

### (5) その他の事業

- 他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
  - ・地域ケア会議 12 回開催
  - ・生活・介護支援サポーター研修会 2 回開催
  - ・民生・児童委員定例会参加 2 地域 2 回
- 認知症サポーター養成講座 4 団体に対し 5 回開催 延 82 名参加
- 地域密着型事業所運営推進会議出席 1 施設 1 回
- 24 時間体制携帯電話設置
- 津市内地域包括支援センターセンター長会議（毎月）
- 津市内地域包括支援センター各職種専門部会 （3 職種各 4～6 回）



- 津市内地域包括・在宅介護支援センター中部エリア会議 2回
- 認知症地域支援推進員活動
  - ・認知症地域支援推進員会議 (12回)
  - ・認知症カフェ参加 (8回)
  - ・認知症サポーターステップアップ講座 (2回)
  - ・認知症カフェ交流会 (1回)
  - ・チームオレンジ・あしたば全体会 (3回)
  - ・オレンジウォーク津 (1回)
- 認知症事例相談会・世話人会 (6回)
- 中勢認知症集団会・世話人会 (2回)

## IV 介護支援事業

超高齢社会の進展により、家庭で療養する高齢者が増加し、在宅・介護のニーズや、がん末期患者のターミナルケア等の在宅療養のニーズの増加に対応するため、当医師会は平成4年に県下で初めて訪問看護ステーションを立ち上げました。更に、平成12年に居宅介護支援事業も開始するとともに、当医師会においては、在宅医療を担う医療機関の機能強化や多職種を含めた連携の重要性から在宅医療委員会を立ち上げ、増大している在宅医療に適確に対応するため、当訪問看護ステーション事業と居宅介護支援事業はその要として、大きな役割を担ってきました。

なお、在宅医療・看護を「住み慣れた地域での生活を支える」という共通の目的を達成する手段と位置付けられることから、在宅医療と看護を一つの事業として実施してきました。

### [事業の概要]

#### (1) 訪問看護ステーション事業

訪問看護は、高齢になっても健康管理をして自分らしく暮らしたい 病気や障がいがあっても、がん・老衰などで終末期になっても、住み慣れたご自宅で生活したい、できれば看取りもかなえたい そんなご本人やご家族の思いを、医師の指示を受け療養生活の援助・指導・医療的処置・終末期医療及びリハビリテーション等を看護師がご自宅に訪問して行う支援サービスです。

又、地域の看護教育支援のため、三重県立看護大学、三重看護専門学校の看護実習生を受け入れ、併設の介護支援センターとともに人材育成に貢献しております。

#### (2) 居宅介護支援事業

介護支援センターは、介護支援専門員（ケアマネージャー）が介護保険の要介護認定者に対して自宅において必要な居宅サービスを適切に利用できるように心身の状況等を勘案して「居宅サービス計画（ケアプラン）」を作成しその計画に従ったサービスが提供されるように「サービス担当者会議」の開催など事業者等との連絡調整を行っています。なお、当医師会の運営であることや介護支援専門員が保健師の資格を有していることなどから、医療依存度の高い相談が寄せられることが多く常に利用者の立場に立ち、公正かつ誠実に対応し、医療機関等と綿密に連携して居宅サービス計画を作成して参ります。

また、財団法人介護労働安定センターが行う介護職員基礎研修会へ介護支援専門員を講師として派遣するなど、介護に係る人材育成に寄与するとともに、当医師会訪問看護ステーションと同様に看護学校の実習生受け入れを行い看護師の養成にも貢献しております。

## 令和4年度訪問看護ステーション事業実績報告

### (会議)

- 担当理事に事業実績報告（毎月第2木曜日）
- 月例ステーション会議（毎月第2金曜日）
- 事例検討、勉強会（随時）
- 三重県訪問看護ステーション津地区管理者会議（隔月第3水曜日）

### (研修会)

- 多職種連携研修会
- 地域連携研修会
- 三重県訪問看護ステーション協議会ブロック研修・津地区研修
- 三重県・難病研修会
- 認知症対応力向上研修（三重県受託事業）
- 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修
- 精神保健福祉基礎研修会（基礎知識編・基礎技術編）
- 三重大学医学部附属病院主催 緩和ケアセミナー
- 訪問看護人材確保事業アドバイザー派遣事業受講（在宅ターミナル、緩和ケア）

### (その他)

- 健康診断 定期社会的PCR検査実施（看護職員5名事務員1名）
- 防災訓練 自然災害編（机上訓練実施）
- 合同避難訓練参加
- 津地区医師会主催 AED 講習会参加
- 津地区医師会代表者及び理事交代に伴い県等各機関への変更届提出
- BCP 策定に伴う運営規定変更届提出
- 道路交通法改正アルコールチェック義務化に伴いアルコールチェック開始
- 三重看護専門学校・三重県立看護大学実習受け入れ
- 訪問看護人材養成指導者1名研修受け入れ
- インボイス制度について説明会参加（柏原事務員）

### (運営状況)

職員（看護師5名うち1名管理者） 事務員1名）  
利用者数 延べ562名（医療150名 介護412名）  
訪問回数 延べ3113回（医療1033回 介護2080回）  
休日訪問 医療39回 介護8回  
正月休み 医療1回 介護3回  
サービス担当者会議47回  
退院時共同指導カンファレンス6回  
在宅患者緊急時カンファレンス8回  
ターミナルケア7名

## 令和4年度介護支援センター事業実績報告（研修会等の出席状況）

### \*毎月担当理事に事業実績報告

- 4月12日 フランスベッド見学会 三重県総合文化センター
- 4月15日 サ高住 ゴールドエイジ高茶屋施設見学
- 4月22日 トーカイ主催（オンライン研修）「高齢者虐待防止の推進について」
- 5月8日 津中部南地域包括支援センター主催（WEB研修）多職種連携  
「認知症診療についての話」
- 6月14日 津中央地域包括支援センター主催地域 ケア会議
- 6月16日 トーカイ主催（オンライン研修）「ハラスメントについて」
- 6月17日 サ高住 ゴールドエイジー身田施設見学
- 9月1日～5日 令和4年度介護支援専門員資質向上研修（専門研修課程Ⅱ）（オンライン研修）
- 12月14日 津中部北包括支援センター 「意見交換会」
- 2月15日 ダスキン主催WEB勉強会「途切れなき安心の歩行導線づくり」
- 3月15日 多職種連携研修 ときの風ホール  
「COVID-19感染症の現状と在宅医療、介護現場での今後の感染症対策」

### （運営状況）

職員 介護支援専門員 3名 主任介護支援専門員 1名  
（保健師 1名 介護福祉士 3名）

要介護プラン	1274件
要支援プラン（外部委託）	49件
要支援プラン（内部委託）	79件
認定調査	131件
サービス担当者会議	126件
退院時カンファレンス	3件
リハビリ会議	3件
医療連携	51件
住宅改修	2件

## V 会館利用状況

当医師会館の一部を、産業保健センターの事務室として長期貸し出しをするとともに、講堂、会議室等を医療関係者が必要とする場合個別貸し出しをし、使用に必要な備品についても貸し出しました。

### 〔主な貸出状況〕

- ・年間契約による貸出状況 津地域保健センター
- ・個別貸出（講堂等）状況

令和4年度の貸出として外部貸出14件、包括支援センターへのダンス教室・スクエアステップ教室等の貸出となりました。

## VI 相互扶助事業

(1) 全会員に対して医師会の情報提供及び連絡調整を行いました。

[主な事業実績]

- ・毎月発行の「安の津医報」で、会員相互の情報交換の案内
- ・県医師会広報への協力
- ・地域別班活動の調整事業

(2) 会員の相互扶助と福祉増進に努めました。

[主な事業実績]

- ・会員及びその家族への慶弔
- ・会員及びその家族が参加し、研修旅行を実施（コロナ禍により中止）
- ・各種クラブへの助成
- ・医師国民健康保険組合の健康診断料の一部助成